

顔の見える木材供給体制構築事業

喫煙場所を心地よい空間にするための スギ木ロスリットパネル材導入による実証事業

背景と目的

【背景】

- ・2025年万博開催を機に市内全域に路上喫煙防止措置が決定
- ・閉鎖型喫煙所整備に空気浄化、臭気除去、ヤニの定期的除去が必要

【目的】

- ・閉鎖型喫煙所の諸問題に対し、スギスリットパネルが有効かを確認する。

対象とする木材・製品、川上から川下までの流通の考え方など

内需：戦後植林の成熟材の有効活用

- ⇒高機能付加価値を付与し、木材の需要拡大を促進
- ⇒更なる供給体制の構築、国産材の利用拡大

輸出：ほとんどが丸太

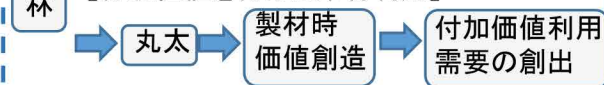
- ⇒浄化機能を付与したスギ製品により、輸出量増加
(例：大気汚染に悩む中国)

写真・図等

【これまでの流れ】



【付加価値を付けた木材利用】



事業実施主体

越井木材工業株式会社

実施体制・参加団体等

実施団体 越井木材工業株式会社

一般社団法人 大阪府木材連合会

協力者 京都大学名誉教授・同生存圏研究所特任教授 川井秀一
(公社)大阪府建築士会

国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所
(株)地域計画建築研究所

事業内容(本事業における具体的な実施項目)

①スギスリットパネルの環境への実証実験

室内空気室IAQ(indoor air quality)改善効果の有効性実証のためのタバコ煙成分の計測

スギスリットパネルの施工前後の継続的な温度・湿度の計測

②スギスリットパネルのタバコヤニの付着観測

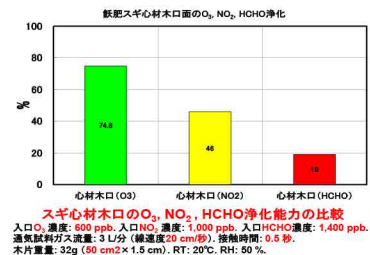
貼り付け後、定期的にタバコ煙成分の浄化・付着を観測

③スギスリットパネルのリニューアル効果の検証

スギスリットパネルのヤニ付着に対する交換時期、及び洗浄によるリニューアル効果が得られるかの検証

④アンケート調査

スギスリットパネルの効果的な量・配置など、喫煙室の木質化をはかる設計・意匠について検討する



スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

協議会開催、実証箇所選定、
空気質分析

空気質分析、リニューアル実証テスト・アンケート

協議会開催
報告書とりまとめ